

バチルス・サブチリス由来のキトサナーゼ 46A、組換え型

Cat. No. NATE-1376

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 キトサナーゼは、部分脱アセチル化キトサン中のN-アセチル-D-グルコサミンとD-グルコサミン残基の間の $\beta(1,4)$ 結合のエンドヒドロリシスを触媒します。ストレプトマイセス・グリセウス由来のキトサナーゼは、キトサンとカルボキシメチルセルロースの両方を加水分解する能力があります。これは、ムコール目に属する真菌の細胞壁の溶解に使用されます。いくつかの種類の微生物に存在します。

別名 キトサナーゼ; EC 3.2.1.132; 51570-20-8; キトサン N-アセチルグルコサミノヒドロラーゼ

製品情報

種	バチルス・サブチリス
由来	大腸菌
形態	35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1.132
CAS登録番号	51570-20-8
分子量	29.5 kDa
純度	>90% は SDS-PAGE による
濃度	1 mg/mL
最適pH	4.0-7.0
最適温度	50 °C
特異性	キトサン

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。